

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

(薬品名)	アコアラン静注用 600	生 物
(英名)	ACOALAN Injection	
(規格・含有量)	1 バイアル中、アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え) 600 国際単位	
(一般名)	アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え)	
(メーカー名)	日本血液製剤機構	
【薬価収載日】	2015 年 8 月	
【薬価】	32,878 円	
【薬効コード】	876349	
【薬効分類名】	血液凝固阻止剤	
効能・効果	先天性アンチトロンビン欠乏に基づく血栓形成傾向 アンチトロンビン低下を伴う播種性血管内凝固症候群(DIC)	
用法・用量	本剤を添付の注射用水で溶解し、緩徐に静注もしくは点滴静注する。 1. 先天性アンチトロンビン欠乏に基づく血栓形成傾向1日1回24~72国際単位/kgを投与する。 2. アンチトロンビン低下を伴う播種性血管内凝固症候群(DIC) 通常、成人には、1日1回36国際単位/kgを投与する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、1日量として72 国際単位/kgを超えないこと。	
禁忌	本剤の成分に対しショックの既往歴のある患者	
相互作用	本剤作用増強 抗凝固剤[トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え)製剤等]	
副作用	重大な副作用(類薬) ショック、アナフィラキシー その他 肝機能異常[AST(GOT), ALT(GPT), γ -GTP, Al-P, ビリルビン上昇等]	

(薬品名)	フィコンパ錠 2mg
(英名)	Fycompa
(規格・含有量)	1錠中にペランパネル水和物 2.1 mg(ペランパネルとして 2.0 mg)
(一般名)	ペランパネル
(メーカー名)	エーザイ株式会社
【薬価収載日】	2016年5月
【薬価】	189.70円
【薬効コード】	871139
【薬効分類名】	抗てんかん剤
効能・効果	他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の下記発作に対する抗てんかん薬との併用療法 ・部分発作(二次性全般化発作を含む) ・強直間代発作
用法・用量	通常、成人及び12歳以上の小児にはペランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後1週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は1日1回8mg、併用する場合の維持用量は1日1回8~12mgとする。なお、症状により1週間以上の間隔をあけて2mgずつ適宜増減するが、1日最高12mgまでとする。
禁忌	1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 重度の肝機能障害のある患者〔使用経験がなく、ペランパネルの血中濃度が上昇するおそれがある。〕
相互作用	本剤作用減弱 カルバマゼピン、フェニトイン、CYP3A 誘導作用を有する薬剤等(リファンピシン、フェノバルビタール、セイヨウオトギリソウ(St.John'sWort)、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品等 本剤作用増強 CYP3A 阻害作用を有する薬剤(イトラコナゾール等) 他剤作用減弱 経口避妊薬(レボノルゲストレル) 本剤他剤作用増強 アルコール(飲酒)
副作用	重大な副作用 攻撃性 その他 浮動性めまい、傾眠

医薬品変更通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
● <u>6月1日より</u> レパーサ皮下注 140mg ペン	レパーサ皮下注 140mg シリンジ(在庫消尽後)

後発医薬品採用通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
● <u>6月1日より</u> エダラボン点滴静注 30mg バッグ「DSEP」	ラジカット点滴静注バッグ 30mg

削除医薬品通知

ノイアート静注用 500 単位

在庫消尽後削除

適応追加通知

アサコール錠 400mg

【効能・効果】

潰瘍性大腸炎(重症を除く)

【用法・用量】

通常、成人にはメサラジンとして1日2,400mgを3回に分けて食後経口投与するが、寛解期には、必要に応じて1日1回2,400mg食後経口投与とすることができる。活動期には、1日3,600mgを3回に分けて食後経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

ゾシン静注用 4.5

【効能・効果】

〈適応菌種〉

(略)

〈適応症〉

敗血症、**深在性皮膚感染症、びらん・潰瘍の二次感染**、肺炎、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎

【用法・用量】

1. 一般感染症

・敗血症、肺炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎及び胆管炎の場合
(略)

・**深在性皮膚感染症、びらん・潰瘍の二次感染の場合**

通常、成人にはタゾバクタム・ピペラシリンとして、1回4.5g(力価)を1日3回点滴静注する。なお、必要に応じて、緩徐に静脈内注射することもできる。

・腎盂腎炎及び複雑性膀胱炎の場合

(略)

レミケード点滴静注用 100

【効能・効果】

(略)

【用法・用量】

〈関節リウマチ〉

(略)

〈ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎〉

(略)

〈乾癬〉

(略)

〈強直性脊椎炎〉

(略)

〈腸管型ベーチェット病、神経型ベーチェット病、血管型ベーチェット病〉(略)

〈川崎病の急性期〉

(略)

<クローン病>

通常、インフリキシマブ(遺伝子組換え)として、体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後、2週、6週に投与し、以後8週間の間隔で投与を行うこと。なお、6週の投与以後、効果が減弱した場合には、**投与量の増量又は投与間隔の短縮が可能である。投与量を増量する場合は、体重1kg当たり10mgを1回の投与量とすることができる。投与間隔を短縮する場合は、体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし、最短4週間の間隔で投与することができる。**

テリボン皮下注用 56.5 µg

【効能・効果】

骨折の危険性の高い骨粗鬆症

【用法・用量】

通常、成人には、テリパラチドとして56.5 µgを1週間に1回皮下注射する。なお、本剤の投与は**24ヵ月**間までとすること